

# 奨励賞

## 京都府立嵯峨野高等学校

テーマ： 「土の地産地消」を通して  
京都市街地周辺の森林環境を考える

生徒らが校有林を研究フィールドとして陶土を採取し、陶器を製作する活動を通して、地球温暖化や生物多様性などについて学んでいる。

↓ 校有林にて自ら陶土を採取している様子



## 竹間自治連合会

テーマ： 竹間公園を拠点とした  
サステナブルなまちづくり

公園清掃で回収した落葉を堆肥化し、絶滅危惧種であるフジバカマを育成している。学区の祭りのエコ化にも取り組み、「本市認定エコイベント」に登録された。

↓ 夏祭りで、リユース食器を使用した  
かき氷を販売している様子



## 同志社大学ミツバチラボ

テーマ： 都市養蜂を通じたコミュニティの創発と  
エコロジー活動の参加促進

授業科目で都市養蜂を実施し、ミツバチの生態や環境問題を探求している。また、企業と循環型社会に関するイベントの協働開催なども行っている。

↓ 屋上で実施している都市養蜂活動の様子



なかがわ のりこ  
中川 典子

テーマ： 世界に誇る「木の和空間」製作と  
「木の文化」発信、環境人材育成

女性では初となる銘木師として、京都での「木材普及」と「木育」活動を推進している。木の文化や伝統建築を継承し、若者や留学生の育成にも尽力。

↓ 木取りを行っている様子

